



## 最近のベンチャー雑感



VEC事務局が大阪科学技術センターにあった頃、例会の後、リクルートの人を紹介され、その人が企画責任者とは知らず「アントレ」という雑誌を「私はこんなことをしたい、誰かお金出して、支援して、とおんぶに抱っここのあんな甘えた雑誌は良くない」と痛烈に避難した。その人は「でも売れているからいいんじゃない？」と反撃を開始。「甘えは判っているが、実現云々より、夢を持つことの楽しさが受けている」という説明に納得した記憶がある。

最近、本田支部長様の御推薦で、大阪市IAG委員の委嘱を受け、ベンチャービジネス事業発表会に参加させて頂いておりますが、「アントレ」とはレベルがまるで違うものの、まだまだ「甘い部分」が多くあって、各委員様からは、表現は非常に軟らかながら「そんなのダメよ」と突き放すことも多くそれは仕方ないとして、少しでも可能性がある案件では検討すべき課題を指摘するご意見が多くです。この人達はその後どうしているのだろうか？

最近の景気低迷、加えて「反発係数が低くなってきた」、「将来に夢を持ってない若者が増加している」などの表現に比例してベンチャー案件も少なくなっているようです。

昨年、「VEC」「IAG」「商工会議所」など関西ベンチャー支援団体が一同に会して「各団体の連携を深める」方向での初会合が開かれましたが、「VEC」の支援ポジショニングもそろそろ明確にしてゆく必要があると感じました。

まず、ビジネスプランの発表で良く感じるのが、考えだされたビジネスの「魅力」がなかなか伝わってこないことが多くあります。ビジネスプランそのものの問題と、短時間にどう伝えるかの「伝え方」にも問題がありそうです。次に、消費者やユーザーが本当にそのような商品やサービスをその価格で欲しているのだろうか？という疑問がありますが、これも切り口と表現の仕方で大きく変わると思います。私の感性

と「アントレ」の感性とのギャップがその良い見本です。

そこで「エグゼクティブサマリー」が書けるレベルの教育支援事業もありかな？と思います。ここで基本的なチェック項目を確認し、「課題の指摘をされて、結果突き放される」ことが大幅に減少すると思います。

そして、最大の課題は「マーケティング」ではありますが、インターネットも「ホームページ」から「ブログ」へ「ツイッター」へと流れが変わり、「写真」から「投稿動画」へとどんどん変化しています。これらをこなすに、知識の修得と安心で安く頼める先を見つけることすら大変です。

私は「エグゼクティブサマリー」よりこちらのほうが優先順位が高く、まずアイデアの段階で「ツイッター」や「ブログ」を通して消費者心理を知りそして「投稿動画」などで思考錯誤しながらの確認を得て、商品化・ビジネス化へ進むのが結果的に成功する率が高いと確信しています。このようなインフラ支援があれば良いと思います。

発案者は、アイデア・技術・商品化以外に、発表の仕方から資金、マーケティングに至るまでのオールマイティにこなせる人など居ないと思われ、指摘事項はわかるがじゃーどうしたら良いかで止まってしまう。

世の中、特に日本では夢を持ちづらいなか、手取り足取りかも知れないが「夢」を持ち易い環境支援が要る時代かもしれないと思っています。



賛助会員 片山 和明

### 大阪証券取引所(大証)とジャスダック証券取引所 (ジャスダック)が合併 ～新「JASDAQ」市場に期待します～

今年4月1日に大証とジャスダックとが合併されました。これによりヘラクレスとジャスダックの両新興市場を統合し、今年10月の予定で「新ジャスダック市場」が開設されます。

新市場は1000社を超える上場企業の集積となり、国内最大の新興市場が誕生します。

基本理念は「新しい産業や中堅・中小企業に幅広くエクイティ資金を供給することを通じて、その成長を支援するとともに投資家にとって魅力的な投資機会を提供する」とされています。

新市場の名称は新「JASDAQ」の予定でスタンダードとグロースに区分される予定です。

制度要綱(案)は2月16日に公表されており(<http://www.ose.or.jp/rules/pc/100216a.pdf>)将来的には

米国NASDAQ市場のようなオリジナリティーに溢れた世界のベンチマークとなる新市場を標榜されています。

我々関係者も大いに期待しております。

以上



株式会社大阪証券取引所(大阪本社)  
〒541-0041 大阪市中央区北浜1-8-16  
大阪証券取引所ビル

## 「大阪史跡巡りの勧め」

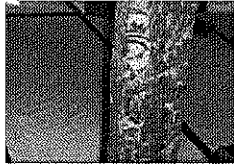
実は、明治維新史について、ここ十数年、毎月一回、4人の仲間と一緒に、泰斗・毛利敏彦先生から講義を受けてきた。その中の一人Iさんは、不動産仲介業を営んでいる。大阪の各地域の地価その他を含めて価値判断をする都合上からだろう、市内の史跡関係にも詳しい。しかし、他のメンバーは（私も含めて）大阪の街中を何十年も歩き回っているが、歴史的な目で見たことがない。一度、現場にじかに立って、身体全体で大阪の歴史を感じてみようということになった。

二月某日、午後1時御堂筋南御堂前に集合。曇りつつない青空の下、合計351歳、平均年齢70.2歳の5名はIさんを先導に歩き始めた。

南御堂→北御堂→文楽発祥の地→緒方洪庵の適塾（日本に残る唯一の蘭学塾遺構）→五代友厚像（大阪証券取引所前）→花外楼（木戸孝允命名の老舗割烹：明治8年日本の運命を左右する「大阪会議」が開催された場所）→福沢諭吉誕生地→開運山高野寺（長州藩蔵屋敷跡、毛利家より高野山に寄進され、街中の建立）等々

知らぬ間に時計の針は5時半を指していた。Iさんの万歩計で17,000歩。約10キロ歩いたことになる。途中神社仏閣ではお参りをし、各所での見学をジックリおこなったのが休憩代わり。4時間半、殆んど腰をかけることもなく、お茶も水すら飲むことなく…サンサンと照り付ける太陽の下…、何と元気な70.2歳ではないか。Iさんの計画では、まだ、いくつかの史跡が予定されていた。でも、肥後橋付近で「北京料理 徐園」の看板を眼にしたときには、衆議一決「残りは次回まわし!!」となった。店に飛び込んで、大ジョッキで乾杯したときには、一番若い私（66歳）でも生き返った心地がしたものだ。それからの一日を振り返っての欲談は尽きそうになかった。そこには、青年のような興奮があった。皆の意見が一致したのは、適塾での感動である。

橋元左内、大村益次郎、福沢諭吉等塾生が寝起きをした27畳の大部屋。その部屋の真ん中の柱には、（彼らの情熱のほとばしりの象徴と考える）無数の刀傷が今も残っているのだった。



（写真は適塾の大部屋の柱の刀傷）まだまだ、大阪をみて回らねば…というのが皆の感想だった。そして、それは続いている。大阪人と称するひとなら、是非、「史跡巡り」を試みられることを心からお勧めする。

藤井 暉彦

じしん  
侍真について（12年間籠山行）

天台宗開祖の最澄が今も生きているかのように献膳・勤行・清掃に加え学問と修行で12年間、山中にある浄土院を一步も出ずに行なう苦行中の苦行です。それは掃除地獄とも言われ戦後は7人しか達成されていません。高川住職はその行を達成された高僧です

・坐禅とは

頭の中を空っぽにして半眼のまま、視線を斜め下に落とし、呼吸を調べ、無の境地に至る行。われわれ、俗人は座っている間中、雑念が次々と巡ってきますが、無理にとめようとせず、なすがままにしておく「無の境地」の入り口に至ります。

・主な行事

毎月1日・16日 大聖歓喜天・祈願お勤め 午前4時・10時半・午後2時～  
毎月第1日曜日 月例法縁の会 午前11時～  
毎月第3日曜日 護摩供祈願 午前11時  
最乗院：大津市坂本4丁目1-7 TEL 077-579-0992

（記）笠井 裕



## VECレポーターが行く!!

～上方日本酒ワールドへ行ってきました!!～

日本酒にかける思いをお客様にも常に伝えたいと関西の飲食店と全国の蔵元が立ちあげた日本酒屋台祭り「上方日本酒ワールド」へ行ってきました。時は5月9日（日）AM10:00スタート。場所は大阪天満宮の境内、入場料として会場で専用グラス（500円）を購入するのが私は前売りを購入していたので当日購入とは少しデザインが違うグラスを引換えてもらい少しご満悦!!



天候もジリジリと夏のような太陽の下、境内はよくもこんな大勢と思えるくらいお酒好きの人、人、人でごった返してました。各々15店舗と蔵元がまるで大学の模擬店のようにテントが並び、参加者は気に入った日本酒を求め購入したグラスに（一杯300～500円位）注いでもらい、又時折日本酒に合った美味しいお料理をつまみにいただく（日本酒だけでもOK）・・・暑さのせい喉の渇きをお目当てのお酒でじっくり味わいながら潤すことにより昼よりいい気分になってしまい、また数ある日本酒の中でも私は「扶桑鶴（鳥根）純米吟醸にこり」が大のお気に入りになってしまいました。見知らぬ人同士でも「お酒」を通じて一緒に楽しめ、奥の深い日本酒に酔いしれた休日でした。

詳しい内容はHP 主催：日本酒に固め <http://manji.atukan.com>

### ～VEC関西より～

◆雨にねれ、野山が輝く六月です。先日、八ヶ岳のふもと清里に山菜取りに行ってきました。若芽が我先に顔を出し「新春の気」がみなぎっていました。日本のベンチャーもこんな元気な時があったな～（本田）

♥少し前から私の周りで流行っているのが“食べるラー油”です。TVで紹介されてからは手に入りにくくって寂しい限りです。自分で作ってみようかな！（藤本）

♣お陰様で毎月色々なジャンルの方々からご寄稿をいただき、すぐに1ヶ月がやってきました！引続き今年後半も明るい話題づくりを目指し、スタッフ一同精一杯行動しますのでご協力よろしくお願い申し上げます。（澤村）

◆<交流会>VEC創立35周年交流会  
7月1日(木) 京都女子大学 准教授 西尾 久美子 様



☎:06-6263-0366

皆様からのご意見・ご要望お待ちしております！

## 「陋規と清規」

—前編—

「陋規が廃ると国が乱れる」という箴言が昔から中国にはありますが、現在の我が国の状況は相当に陋規が乱れている様に感じられる。

1990年代以降、所謂バブル崩壊以降はその傾向が顕著に筆者には感じさせられる。

陋規とは判り易く言えば裏社会の法律、規則のことで、その反対語が清規である。泥棒でも物品は盗むが、人を傷つけたり、障害（あや）めたりはしない、ヤクザでも博打はやるが、麻薬には手を出さない・・・と言う様な暗黙の取極めの様なものがある。

親が世の中で一番可愛い筈の我が子を殺したり、子が親を殺したり、また大手企業と云われる企業でも収益をあげる事のみ奔走して犯罪に近い様な行為を平然と行うなど、相当に危なっかしい状況にある様に思える。特に日本では12年連続して年間3万人以上の自殺者が出ており、先進国では異常な状態であり、近年は20代30代の若者の自殺者が増加している事とその理由も含め非常に憂慮すべき状態ではなからうか。

昨年8月の政権交代は国民のそれぞれの不平、不満、やるせなさ等の大きな心の発露と感じており『志』のある政治が行なわれていない事に国民は大きく失望している様にも思える。今一番大切な事柄は「経済」と明確に断言できるのではないだろうか。

<続く>

ブランメゾン 株式会社 代表取締役 白屋 健二



## 比叡山山麓・最乗院での坐禅三昧

本田支部長が永く続けておられる、恒例の一日坐禅修行に参加させていただきました。厳しい苦行をされたとは思えないおだやかで、超然とされた高川慈照住職の有難い「ご講話」と「坐禅」に加えて、心がこもった「手づくり精進料理」を楽しみました。今回も自分をリセットできた意義深い一日でありました。次回は秋の予定です。一度参加されてはいかがでしょうか。ぜひ非日常をご体験ください。

「最乗院に関して・・・。」